



# 12月の園だより

学校法人志賀学園  
松の実こども園  
令和3年12月1日

園庭の木々もすっかり葉を落とし、日増しに寒さがつのる頃となりました。

12月は冬至、クリスマス、そして大掃除、餅つき、大晦日と年末に向けた行事が続きます。今年の冬至は22日です。冬至は二十四節気の一つで、一年で最も夜の時間が長く、昼の時間が短い日です。この日を境に少しずつ昼の時間が長くなっていきます。冬至のカボチャを食べたり柚子湯に入ったりすると風邪をひきにくくなると言われています。

さて、生活発表会まであと一週間になりました。今年もコロナ禍の対応を考慮し、クラスごとの発表で、各ご家庭園児一人につき保護者2名までの参加とさせていただきました。そのため保護者の皆様には各クラスのプログラムしか見ていただけないことを心苦しく思っております。今年度も子どもたちや先生の希望で、1組、2組と同じダンスや劇に取り組んでおります。ステージでの練習風景を眺めていると、お互いの演技を見ながら「手や足を大きく伸ばすとかっこいいよね。」「大きな声を出せば後ろまでセリフが聞こえるんだね!」と、刺激や参考になっているようです。また、子どもたちの演技が引き立つように、毎日先生方が背景を描いたり、頑張っている子どもたちに喜んでもらえるよう、心を込めて衣装を縫ったり、小物や大道具を作ったりしています。

子どもたちがひたむきに練習している姿を見ていると、それぞれの学年の成長過程がよく見られ、『保護者の皆様にも全部観ていただけたらなあ〜』と、思いました。そこで、これまでの子どもたちの取り組みの様子を少しお伝えしたいと思います。

3歳児は、みんな大好きなはなかつぱの「えがおのまほう」の曲、サンタの衣装を着て「クリスマスのうたがきこえてくるよ」を踊ります。朝のお集りで歌って親しんでいた「おもちゃのチャチャチャ」の音楽劇では、ピエロや兵隊、フランス人形など、自分のやりたい役びつりの衣装を着て踊っている姿が可愛らしいです。

4歳児は「紅蓮華」「アナと雪の女王」のダンスと「くれよんのくろくん」の音楽劇を行います。「僕は炭治郎だよ!」「僕は煉獄さん!」「剣で戦うんだ。かっこいいでしょう。」と男の子。「私はプリンセス。〇〇君は王子様なの。」と女の子。みんなの大好きな「くれよんのくろくん」の音楽劇では、絵本のストーリーに合わせて、いろいろな色で素敵な絵を描いていきます。

5歳児は「ライオンキング」の言語劇を行います。台詞のやり取りも覚え楽しんで行っています。劇団四季のミュージカルさながら、役になりきってみんなで心を合わせ行いますので、お楽しみください。それぞれがナレーションも務め、自分たちで進めていく感じが年長さんとしての成長を感じられます。

0・1・2歳児は、ホールでの発表はありませんが、日頃から楽しんで踊っている曲に合わせて、それぞれ衣装を身に付けてダンスをしている姿を、後日フェイスブックで動画配信する予定です。可愛らしく、まだあどけない子どもたちの姿を、どうぞ楽しみにしててください。